

令和6年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて 次年度（令和7年度）に向けた改善方策

1 学習指導について

- (1) 授業における ICT の効果的な活用と板書やプリントの工夫などのアナログの良さをバランスよく取り入れた指導方法を進路学習指導主任と校内の研究推進委員会が協働して研究し、生徒が楽しいと思えるような授業を展開する。そして、この2つに関わる学校関係者評価生徒アンケートの項目において肯定的評価 90%以上を目指す。
- (2) めあてや発問、教材の工夫や体感・体験を積極的に取り入れるなど、生徒の探究心を煽るような授業改善を進め、学校関係者評価生徒アンケート「自分で考えたり、友達と考えたりする時間」の項目の肯定的評価 90%以上を目指す。

2 進路指導（キャリア教育）について

- (1) 全教員が過去の日本の教育の危機である「学びに対する興味関心の希薄さ」「将来との関連性の見えないままでの学び」「受験終了後に剥落する『知』の危険性」を意識し、「身に付けさせたい力」を明確にした教育活動（学び）を実践する。そして、学校関係者評価生徒アンケート「学ぶことが楽しい」の項目の肯定的評価 80%以上を目指す。
- (2) 「キャリア・パスポート」は自己理解を深め、自らのキャリアを形成するためのツールであることを生徒に意識させ、作成や振り返りの際の「対話的な関わり」を大切に学習活動として実践する。そして、学校関係者評価生徒アンケート「キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している」の項目の肯定的評価 70%以上を目指す。

3 全般（学び舎）について

- (1) みしまの森学舎の幼稚園や保育所、こども園、小学校との連携や活動の見える化に努めるとともに、学び舎経営企画会議において、園児、児童、生徒が関わるような連携の在り方を模索し、学び舎に関わる学校関係者評価生徒アンケートの項目において肯定的評価 50%以上を目指す。

4 その他

WEB アンケートになり、回答率が年々下がっていることに対して

- (1) 次年度より、アンケート項目を学校独自で決めることができるようになるため、学校運営委員会や学校関係者評価委員会と協議・連携して、本校が教育活動を進める上で、特に必要なアンケート項目に絞り、学校関係者評価アンケートを実施する。
- (2) 保護者アンケートに関しては、引き続きすぐー等を活用して周知徹底をするとともに、アンケートに回答したかどうかを確認するシステムを構築する。
- (3) 地域アンケートに関しては、アンケートの回答をお願いする方々の見直しを図る。基本的にはお便り等を送付しているすべての方々ではなく、その方々の中で現在学校とのかかわりが深く、学校や生徒の様子が分かる方々をお願いをする。また、新たに回答していただく方も模索する。